

付 録

住民意向調査結果(アンケート)の概要

1) アンケートの目的

景観計画の策定にあたって、市民の視点から見た土岐市の景観資源や景観上の課題を明らかにするとともに、望ましい景観形成に向け、市民が考える取り組みの方向性及び取り組みに対する市民の参加意向等を把握することを目的に実施した。

2) アンケート対象エリア及び対象者

- ・対象エリア

市域全域の住民の景観に対する現状認識、考え方を把握するため、土岐市全域とした。

- ・対象者

市政への主体的な参加が可能な 20 歳以上の市民を対象とした。

3) アンケート内容

アンケートは、個人属性の他、景観の現状認識、景観づくりの今後の方向性、景観づくりに向けた取り組みの参加意向の 3 項目で全 14 問の設問を設けた。

- ・個人の属性

性別、年齢、職業、住所（郵便番号）、居住年数

- ・土岐市の景観の現状認識

問 1 まちなみや自然景観についての意識

問 2 土岐市全体の景観についての評価

問 3 回答者自身の周辺景観についての評価

問 4 土岐市の景観の変化に対する評価

問 5 土岐市の評価の高い景観資源

問 6 土岐市の評価の低い景観資源

- ・景観づくりの今後の方向性

問 7 景観づくりの方向性

問 8 景観づくりのために必要な事項

問 9 景観づくりのためのルール作りについての意識

問 10 景観づくりのために必要なルール

問 11 景観づくりのためのルール作りの主体についての意識

- ・景観づくりに向けた取り組みへの参加意向

問 12 景観づくりの取り組みへの参加意欲

問 13 景観づくりに向けて回答者自身が協力可能な事項

問 14 景観づくりに向けて市に期待する事項

4) 配布数と回収数の設定

- ・ 配布・目標回収数（回収率）

| 配布数 | 目標回収数 | 回収率 |
|---------|-------|-----|
| 2,174 部 | 600 部 | 30% |

図中目標回収数は、信頼度 95%、標本誤差 4%を確保したケース

回収率が 20%で 400 部の回収となった場合でも、信頼度 95%、標本誤差 5%の精度を確保するで、一般的には十分な精度と言える。

- ・ アンケート配布数について

配布総数は、下表のとおり、各地域の人口割合から決定した。（地域区分は次ページ参照）

但し、100 部に満たない鶴里地域、曾木地域については、人口割合と関係なく 100 部配布することとし、西部丘陵地域の 2 地域については、土地利用が類似していることから 2 つで 1 地域と考え、それぞれ 50 部ずつ配布し、結果的に、総数 2,174 部を配布した。

地域別アンケート配布数

| 地域名 | H17 人口 | 割合 | 配布数 | 配布数 |
|--------------|--------|--------|-------|-------|
| 土岐津地域 | 9,345 | 15.0% | 300 | 300 |
| 西部丘陵(土岐津町)地域 | 488 | 0.8% | 16 | 50 |
| 下石地域 | 6,156 | 9.9% | 198 | 198 |
| 西部丘陵(下石町)地域 | 599 | 1.0% | 20 | 50 |
| 妻木地域 | 7,022 | 11.3% | 226 | 226 |
| 鶴里地域 | 1,726 | 2.8% | 56 | 100 |
| 曾木地域 | 1,067 | 1.7% | 34 | 100 |
| 駄知地域 | 9,227 | 14.9% | 298 | 298 |
| 肥田地域 | 6,633 | 10.7% | 214 | 214 |
| 泉南部地域 | 14,740 | 23.7% | 474 | 474 |
| 泉北地域 | 5,099 | 8.2% | 164 | 164 |
| 計 | 62,102 | 100.0% | 2,000 | 2,174 |

H17 人口は、平成 20 年度基礎調査の調査区から算出

配布数 は各地区の人口割合から算出した配布数

配布数 は最終配布数

- ・ 対象者のサンプリング方法

市域全域から幅広く、地域の偏りが無い様に意見を把握するため、住民基本台帳から地区毎の夜間人口を考慮した層化無作為抽出法により対象者を抽出した。

- ・ 配布・回収方法

サンプリング抽出者に対し、郵送配布・郵送回収とした。

5) 調査実施時期

平成 21 年 10 月 1 日（木）～10 月 23 日（金）

調査実施期間は配布日より 3 週間(但し、返信用封筒の有効期限は 10 月末までとした。)

地域区分図



6) 調査結果の概要

・回収結果

回収数:944 通 (回収率 43.4%)

・まとめ (景観づくりに向けた検討課題)

「中心市街地を中心とした“にぎわい”の創出」、「自然資源や集落・施設資源などの景観資源の保全・管理」に向けた方策、体制づくりの検討
 景観への関心が高い市民と行政が協働で景観づくりを進めるための体制づくり、情報提供方法の検討

・景観資源と景観阻害要素

| 項 目 | 内 容 |
|----------|---|
| 自然景観 | <p>「山なみ」「河川」「公園・緑地」景観は、良い景観として多くの人が評価しており、個別にはどんぶり会館から見た山なみの評価が高い。今後の景観づくりの方向性についても、「自然を生かした景観づくり」を望む人が多い。</p> <p>一方、河川や山なみについては、「河川や河川敷の汚れ」「開発による山なみの変化」が評価として悪い景観となっており、“資源の保全や管理”に対する評価が低くなっている。</p> |
| 歴史・文化景観 | <p>「社寺・史跡などの歴史的」景観は、山なみ・河川等の自然景観、陶器によるモニュメント景観に次いで評価が高く、特に妻木地域では最も評価の高い資源となっている。個別には妻木地域の八幡神社等、集落内にある社寺が上げられている。</p> <p>社寺・史跡については、悪い景観を問うた設問の選択肢に「社寺史跡などの歴史的な建物が少なくなっている」があるが、選択数は低く、昔から変わらず生活の場に溶け込んでいるものと認識されていると考えられる。</p> |
| 市街地・集落景観 | <p>中心市街地である土岐市駅周辺は、にぎわいが無い、シャッター通りとなっているなどの理由から、評価として悪い景観となっている。今後の景観づくりの方向性についても、「にぎわいのある市街地の景観づくり」を望む声が最も多い。</p> <p>また陶器工場が集中している下石地域、駄知地域を中心に「陶器のモニュメント風景」が良い景観として評価されている。</p> <p>その他、田園風景については、良い景観と悪い景観の両方で評価されており、山なみと合いった重要な景観要素として認識されているとともに耕作放棄地の増加により、評価として悪い景観となっていると考えられる。</p> |
| 施設景観 | <p>アウトレットモールやどんぶり会館など大規模な施設が良い景観として評価されている。また、大規模施設の外、道路や橋梁に陶器のモニュメントが数多く設置されており、「陶器のモニュメント風景」に対する評価は高い。</p> <p>一方で、道路の緑化やごみの投棄、雑草の未処理など“資源の保全や管理”に対する評価が低くなっている。</p> |

・景観づくりへの市民の意識

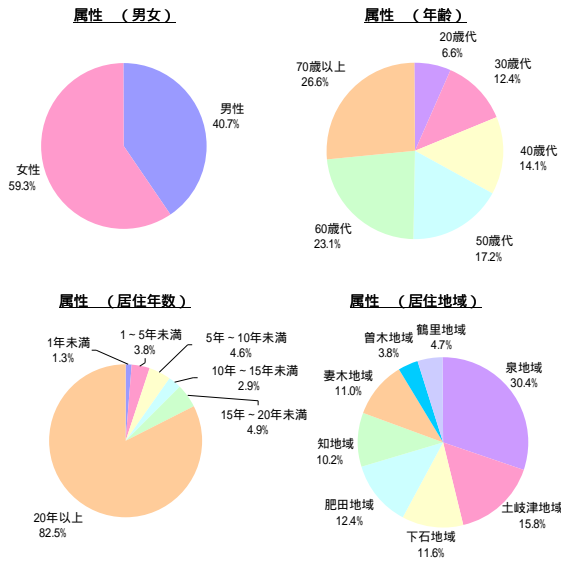
| 項 目 | 内 容 |
|--------------------|---|
| 景観への関心・現状の景観評価 | 景観への関心は非常に高い。また現状の景観に対する評価は、良いという回答と悪いという回答が半々で分かれており、近年は景観が悪くなってきていると認識している人が多い。 |
| 景観づくりに向けたルール設定 | 景観づくりに向けてルールを設ける事は、「全市的に緩やかなルール設定」という意見を中心に多くの人が賛成している。そのルールづくりについては、住民と行政が協働で進めるべきと考えている。 |
| 景観づくりへの協力意向 | 景観づくりへの協力については、半数以上の方が協力意向はあるものの、時間の都合がつけばという条件付きである。一方、協力意向を示していない方の多くが関心はあるが協力は難しいと回答している。 |
| 景観づくりを進める上で市に期待する事 | 景観づくりを進めるにあたり、市に期待する事として、「景観に配慮した公共事業の推進」他、「景観づくりに関する情報提供」、「緑化の指導・誘導」、「景観づくりの手引きの作成」が挙げられており、景観づくりの進め方に関する情報を望んでいると考えられる。 |

アンケート結果一覧

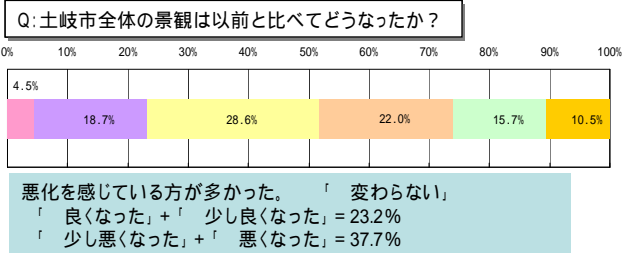
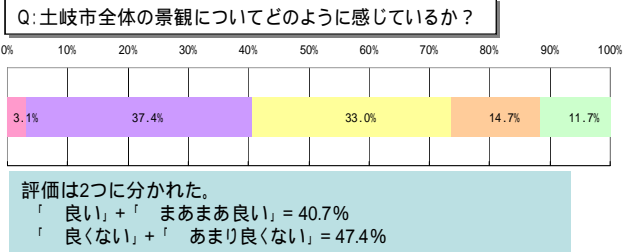
| | | 泉地域 | 土岐津地域 | 下石地域 | 肥田地域 | 駄知地域 | 妻木地域 | 曾木地域 | 鶴里地域 |
|--------------|----------------|----------------------------------|----------------------|---------------------------|----------------------------------|----------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------------------|
| 景観への関心度 | 気になる | 86% | 86% | 75% | 83% | 77% | 77% | 63% | 80% |
| | 気にならない | 14% | 14% | 25% | 17% | 23% | 23% | 37% | 20% |
| 市全体景観評価 | 良い | 35% | 39% | 48% | 41% | 41% | 44% | 54% | 42% |
| | 良くない | 56% | 52% | 33% | 47% | 33% | 45% | 31% | 49% |
| 居住地周辺景観評価 | 良い | 47% | 52% | 57% | 56% | 46% | 46% | 57% | 49% |
| | 良くない | 47% | 40% | 34% | 39% | 41% | 47% | 34% | 51% |
| 景観の変遷評価 | 良くなった | 16% | 17% | 36% | 29% | 27% | 33% | 17% | 23% |
| | 変わらない | 34% | 24% | 18% | 31% | 25% | 31% | 37% | 23% |
| | 悪くなった | 40% | 46% | 32% | 32% | 38% | 28% | 34% | 46% |
| 良い景観 | 第1位 | 山なみ風景 | ・河川風景 | ・陶器のモニュメント風景 | 山なみ風景 | 山なみ風景 | ・歴史的風景 | ・田園・里山風景 | ・田園・里山風景 |
| | 第2位 | ・特になし | 山なみ風景 | 山なみ風景 | ・公園・緑地風景 | ・公園・緑地風景 | 山なみ風景 | 山なみ風景 | 山なみ風景 |
| | 第3位 | ・河川風景 | ・特になし | ・公園・緑地風景 | ・田園・里山風景 | 陶器のモニュメント風景 | 陶器のモニュメント風景 | ・公園・緑地風景 | ・歴史的風景 陶器のモニュメント風景 |
| 悪い景観 | 第1位 | 建物の老朽化、汚れ | 建物の老朽化、汚れ | 河川や河川敷の汚れ | 河川や河川敷の汚れ | 建物の老朽化、汚れ | 河川や河川敷の汚れ | ・開発による山なみの変化 | ・耕作放棄の田園 |
| | 第2位 | ・まちや通りの緑の少なさ | ・電線・電柱 | ・開発による山なみの変化 | ・まちや通りの緑の少なさ | 耕作放棄の田園 | 耕作放棄の田園 | 耕作放棄の田園 | ・ごみや廃棄物の投棄 |
| | 第3位 | ・耕作放棄の田園 | まちや通りの緑の少なさ | ・公園・緑地が少ない まちや通りの緑の少なさ | 建物の老朽化、汚れ | ・河川や河川敷の汚れ | 建物の老朽化、汚れ | ・ごみや廃棄物の投棄 | ・河川や河川敷の汚れ ・開発による山なみの変化 |
| 景観づくりの方向性 | 第1位 | 魅力的な市街地・商業地の景観づくり | 魅力的な市街地・商業地の景観づくり | 魅力的な市街地・商業地の景観づくり | 魅力的な市街地・商業地の景観づくり | 魅力的な市街地・商業地の景観づくり | 魅力的な市街地・商業地の景観づくり | ・山なみ、河川など自然を生かした景観づくり | ・田園、里山を生かした景観づくり |
| | 第2位 | 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり | 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり | 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり | 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり | 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり | 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり | ・田園、里山を生かした景観づくり | 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり |
| 景観整備への必要項目 | 第1位 | 中心市街地の面的整備 | 中心市街地の面的整備 | 中心市街地の面的整備 | 中心市街地の面的整備 | 中心市街地の面的整備 | ・落書きやごみ投棄防止 | ・自然、田園資源の保存 | ・落書きやごみ投棄防止 |
| | 第2位 | 落書きやごみ投棄防止 | 落書きやごみ投棄防止 | 落書きやごみ投棄防止 | 落書きやごみ投棄防止 | ・公共施設の緑化・美化 | ・公共施設の緑化・美化 | ・落ち着いた住環境の整備 | ・中心市街地の面的整備 |
| | 第3位 | ・公共施設の緑化・美化 | ・電線地中化 | ふれあいの場づくり | ・公共施設の緑化・美化 | ・落書きやごみ投棄防止 | ・歴史的資源の保存整備 ふれあいの場づくり | ふれあいの場づくり | ・自然、田園資源の保存 ・市と市民の協働の景観作り体制整備 |
| ルールづくりの方針 | 全市的に緩やかなルールを設定 | ・全市的に緩やかなルールを設定し、地区限定の細やかなルールを設定 | 全市的に緩やかなルールを設定 | 全市的に緩やかなルールを設定 | ・全市的に緩やかなルールを設定し、地区限定の細やかなルールを設定 | 全市的に緩やかなルールを設定 | 全市的に緩やかなルールを設定 | 全市的に緩やかなルールを設定 | ・全市的に緩やかなルールを設定し、地区限定の細やかなルールを設定 |
| ルールづくりが必要な項目 | 第1位 | 敷地の緑化 | 敷地の緑化 | 敷地の緑化 | 敷地の緑化 | ・公共施設の色やデザイン | ・公共施設の色やデザイン | ・公共施設の色やデザイン | 敷地の緑化 |
| | 第2位 | 公共施設の色やデザイン | ・看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 | 公共施設の色やデザイン | 公共施設の色やデザイン | ・敷地の緑化 | ・敷地の緑化 | ・看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 | 公共施設の色やデザイン ・看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 |
| | 第3位 | 看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 | ・公共施設の色やデザイン | 看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 | 看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 | 看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 | 看板広告のデザイン、色彩、大きさ、数 | ・敷地の緑化 | ・建物の配置 |
| ルールづくりの進め方 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 | 住民・市民の協働 |
| 景観整備への協力意向 | 都合がつけば協力 | 都合がつけば協力 ・関心あるが協力は難しい | 都合がつけば協力 | 都合がつけば協力 | 都合がつけば協力 ・関心あるが協力は難しい | ・関心あるが協力は難しい | ・関心あるが協力は難しい | 都合がつけば協力 ・関心あるが協力は難しい | 都合がつけば協力 |
| 景観整備の協力項目 | 第1位 | 清掃活動への参加 | 清掃活動への参加 | 清掃活動への参加 | 清掃活動への参加 | 清掃活動への参加 | 清掃活動への参加 | 清掃活動への参加 | 清掃活動への参加 |
| | 第2位 | 自宅の緑化 | 自宅の緑化 | 自宅の緑化 | 自宅の緑化 | 自宅の緑化 | 自宅の緑化 | 自宅の緑化 | 自宅の緑化 |
| | 第3位 | ・緑化活動への参加 | 重要建物・樹木の保存活動への参加 | 重要建物・樹木の保存活動への参加 | 重要建物・樹木の保存活動への参加 | 重要建物・樹木の保存活動への参加 | 重要建物・樹木の保存活動への参加 | 重要建物・樹木の保存活動への参加 | 重要建物・樹木の保存活動への参加 |
| 市への期待項目 | 第1位 | ・景観に配慮した公共事業 | ・景観に配慮した公共事業 | 景観づくりに関する情報提供 | 景観づくりに関する情報提供 | ・景観に配慮した公共事業 | 景観づくりに関する情報提供 | 景観づくりに関する情報提供 | 景観づくりに関する情報提供 ・景観に配慮した公共事業 |
| | 第2位 | 景観づくりに関する情報提供 | 景観づくりに関する情報提供 | 景観に配慮した公共事業 | 景観に配慮した公共事業 | 景観づくりに関する情報提供 | 景観に配慮した公共事業 | ・敷地緑化の指導・誘導 | ・景観づくりの手引きの作成・公表 |
| | 第3位 | 敷地緑化の指導・誘導 | 景観づくりの手引きの作成・公表 | 敷地緑化の指導・誘導 | 敷地緑化の指導・誘導 | 景観づくりの手引きの作成・公表 | 景観づくりの手引きの作成・公表 | 景観づくりの手引きの作成・公表 | 敷地緑化の指導・誘導 |

配布数：2,174通（郵送配布）
 回収数：944通
 回収率：43.4%
 期間：平成21年10月1日～23日（3週間）

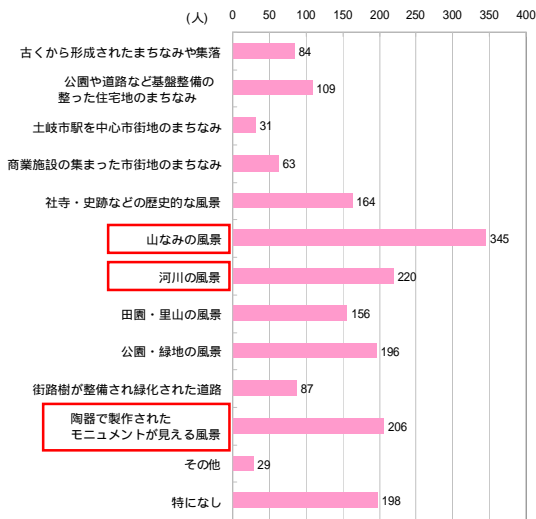
回答者の属性



調査結果

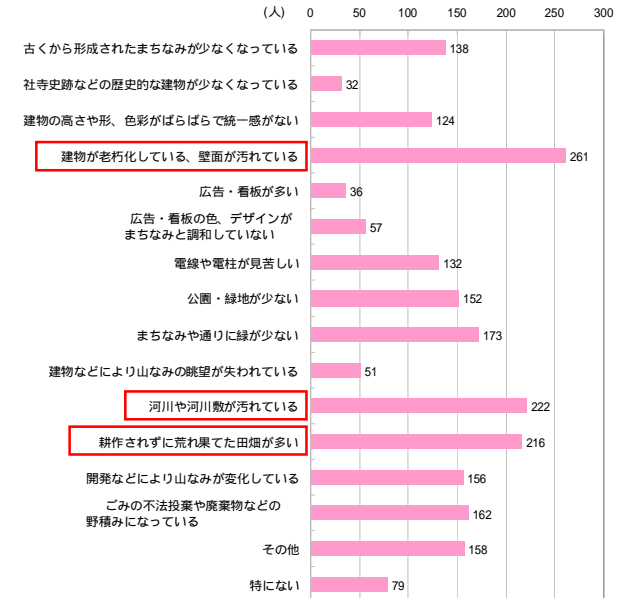


Q:土岐市の**良い景観**と感じているものは？



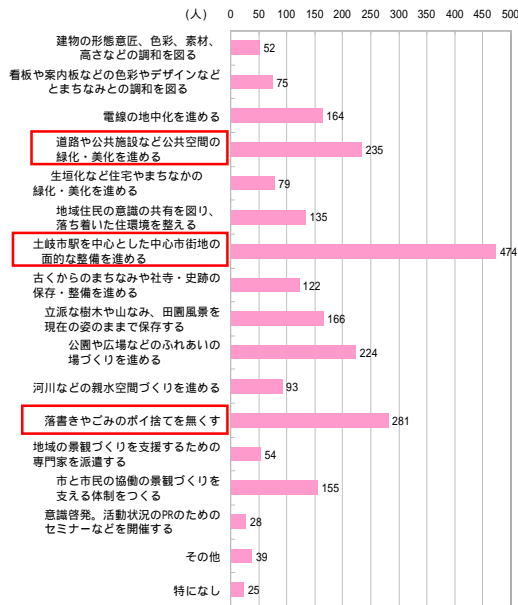
1位:山なみの風景
 2位:河川の風景
 3位:陶器で製作されたモニュメントが見える風景

Q:土岐市の**悪い景観**と感じているものは？



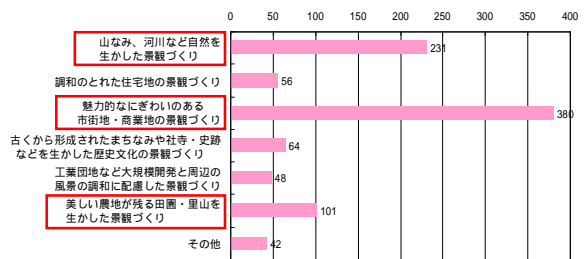
1位:建物が老朽化している、壁面が汚れている
 2位:河川や河川敷が汚れている
 3位:耕作されずに荒れ果てた田畑が多い

Q: 土岐市の美しい景観づくりに必要だと思うものは？



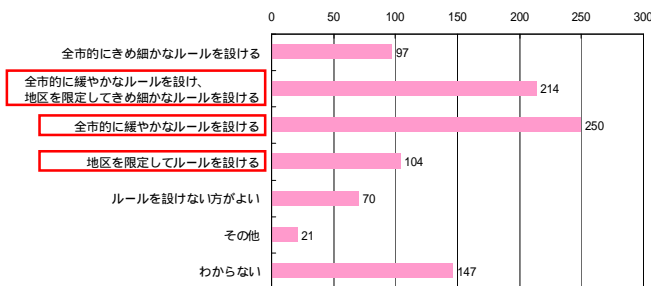
- 1位: 土岐市駅を中心とした中心市街地の面的な整備を進める
- 2位: 落書きやごみのポイ捨てを無くす
- 3位: 道路や公共施設など公共空間の緑化・美化を進める

Q: 土岐市の景観づくりの方向性は？



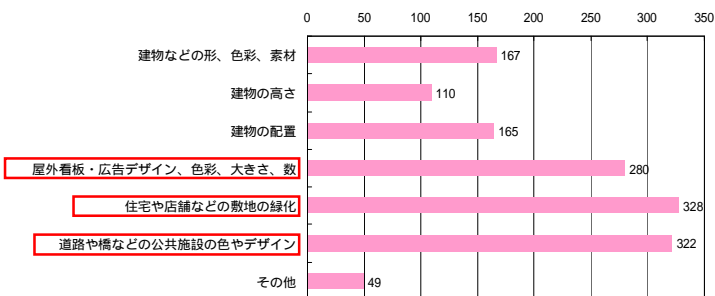
- 1位: 魅力的なにぎわいのある市街地・商業地の景観づくり
- 2位: 山なみ、河川など自然を生かした景観づくり
- 3位: 美しい農地が残る田園・里山を生かした景観づくり

Q: 景観形成のルールづくりの方向性は？



- 1位: 全市的に緩やかなルールを設ける
- 2位: 全市的に緩やかなルールを設け、地区を限定してきめ細かなルールを設ける
- 3位: 地区を限定してルールを設ける

Q: 景観づくりに必要なルールは？



- 1位: 住宅や店舗などの敷地の緑化
- 2位: 道路や橋などの公共施設の色やデザイン
- 3位: 屋外看板・広告デザイン、色彩、大きさ、数

土岐市景観計画策定委員会 委員名簿(平成23年度～平成24年度)

(敬称略)

| | 区 分 | 氏 名 | 所 属 | 備 考 |
|----|----------|--------|-------------------|----------------|
| 1 | 学識経験者 | 水尾 衣里 | 名城大学人間学部 教授 | 委員長 |
| 2 | 関係行政機関の長 | 近藤 康弘 | 東濃建築事務所長 | |
| 3 | 関係団体の代表者 | 小出 寿勝 | 岐阜県建築士事務所協会 | |
| 4 | 関係団体の代表者 | 土屋 功 | 土岐市農業委員会 会長 | |
| 5 | 関係団体の代表者 | 小木曾 邦夫 | 土岐商工会議所 専務理事 | |
| 6 | 関係団体の代表者 | 今井 静夫 | 土岐市文化財審議会 会長 | |
| 7 | 関係団体の代表者 | 渡辺 博己 | 土岐市観光協会 | |
| 8 | 関係団体の代表者 | 澤田 敦史 | 土岐青年会議所 理事長 | 平成23年度 副理事長 |
| 9 | 関係団体の代表者 | 佐分利 衛 | 土岐市連合自治会 理事 | 平成23年度 会長 |
| 10 | 関係団体の代表者 | 加藤 紀久朗 | 土岐市小・中学校校長会 会長 | |
| 11 | 関係団体の代表者 | 松尾 隆夫 | 土岐市文化団体連盟 会長 | |
| 12 | 関係団体の代表者 | 金山 富士子 | 土岐市生活学校 代表 | |
| 13 | 市民代表 | 山口 和雄 | 市民公募 | |
| 14 | 市民代表 | 近崎 奈保子 | 市民公募 | |

土岐市景観計画策定の経緯

| 年 | 月 | 経緯 |
|---------|------|--|
| 平成 21 年 | 10 月 | 住民意向調査（10/1～10/23） |
| 平成 22 年 | 3 月 | 基礎的調査の整理 |
| 平成 23 年 | 3 月 | 景観計画の目標・方針等の検討 |
| | 11 月 | 第 1 回 土岐市景観計画策定委員会（11/2） |
| | 12 月 | 第 2 回 土岐市景観計画策定委員会（12/14） |
| 平成 24 年 | 2 月 | 第 3 回 土岐市景観計画策定委員会（2/29） |
| | 4 月 | 景観行政団体に移行 |
| | 5 月 | 第 4 回 土岐市景観計画策定委員会（5/18） |
| | 7 月 | 土岐市景観計画（素案）の確定 |
| | 8 月 | 地元説明会 [市内 7 地区：8/21～8/23, 8/27～8/30] |
| | 10 月 | パブリックコメント（10/1～10/15） |
| | 11 月 | 第 5 回 土岐市景観計画策定委員会（11/14） |
| | 12 月 | 土岐市景観計画（案）の確定、縦覧 |
| 平成 25 年 | 2 月 | 土岐市都市計画審議会 |
| | 3 月 | 土岐市景観計画の策定 |
| | 4 月 | 土岐市景観計画の施行 |

土岐市景観計画

平成 25 年 4 月

土岐市 建設部 都市計画課

〒509-5192 土岐市土岐津町土岐口 2101

TEL 0572-54-1111 (代)

FAX 0572-54-7982

Mail toshi@city.toki.lg.jp